

令和6年度 山形歯科専門学校 学校評価書

※ 評価得点欄の値は、校内評価委員会及び同会事務局の全教職員計13名の評価得点を平均したものである。なお、各自の評価得点は次の基準による。
<適切－4点、ほぼ適切－3点、やや不適切－2点、不適切－1点>
また、得点の文字色は次の通りである。
青(3.8～4.0)－「良い」、黒(3.5～3.7)－「まあまあ良い」、ピンク(3.0～3.4)－「要注意」、赤(2.9以下)－「改善必要」

	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員 の指導及び助言 (順不同)	次年度の改善点
		評価 得点	成果と課題 (「学校自己評価報告書」の略記・抜粋)		
1 教育理念・目標	A 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか。	3.8	[主な取組 並びに 成果] ① 「職業実践専門課程」(文部科学大臣認定)6年目。各種感染症防御体制の中、協力施設との緊密な連携のもと充実した臨地・臨床実習を実施。また、今年度より山形市・上山市に加え米沢市・天童市・東根市においても地域保健指導実習を実施。(A・B・C・E) ② 教育課程編成委員会(年2回)で、感染症対策をはじめ、教育活動全般について協議・検討し、学校運営に反映。(A・B・C・E) ③ 学校HPの適時更新を推進し、県歯科医師会「やまがた歯科衛生士お役立ち情報」コーナーの活用なども含め、各種学校情報をWeb上に公開。(D) [今後の課題] ① 各感染症防御の体制継続のもと、各種校外実習や学校間交流等の内容の充実・向上に向けて細部検討。(A・B・C・E) ② 5市との連携強化による地域保健指導の内容充実。地区歯科医師会との連携拡大。(B・C) ③ 学校の理念や特色、運営方針や体制、さらに修学支援制度等に対する学生・保護者の理解深化と情報共有の方策検討。(D)	○ 学校評価体制の変更など、新しい国の取組を注視していくことは大切である。	1 学校の理念や特色、運営方針や体制、各種修学支援制度等について、学生や保護者と情報共有し、さらに理解の深化を図る。 2 各感染症防御の体制継続のもと、校内外の学習諸活動について、より実効の上がる内容・方法等を検討し、実施する。 3 関係する自治体や地区歯科医師会との連携を強化し、臨地実習の内容向上と地域歯科保健活動の実施実績を上げていく。
	B 学校における職業教育の特色は何か。	3.8			
	C 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか。	3.5			
	D 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか。	3.5			
	E 学科の教育目標、育成人材像は、学科に対応する業界にニーズに向けて方向づけられているか。	3.5			
2 学校運営	A 目標等に沿った運営方針が策定されているか。	3.8	[主な取組 並びに 成果] ① 教員運営委員会による、学校の運営方法や施設設備の整備、職員の業務改善等に向けた総括的な検討。(A・B・C)	○ 業務におけるIT化はどのような所で必要なのか、またどのように推し進めていけばよいのか、もっと研究	1 校内会議の充実を図り、感染症に係る危機管理を含めて校内外の諸課題について情報共有をし、柔軟かつ
	B 運営方針に沿った事業計画が策定さ				

営		3. 8	② 協力施設等と緊密な連携をもとにした基本的な各種感染防御体制の維持・継続。(C・F) ③ 教育課程編成委員会の充実と学校運営全般への反映(A・B・C) ④ 学校図書室運営検討委員会の検討を反映させた学習センター機能の向上や充実、学生図書委員会の活動の活性化等による利用の拡大。(A・B・C) ⑤ 学校HPの更新と専用ブログやインスタグラムの活用による学校情報の公開や広報の充実。(G) [今後の課題] ① 外部有識者を交えた諸会議等組織の全体運営に係る会議とともに、学校運営の基本となる校内諸会議を定期開催し、教職員全体の情報共有をさらに強化。(A・B・C・D) ② データ集計等のIT化を図り、教職員の業務の効率化と平準化をさらに推進。(H) ③ 就業規則に係り、教職員の業務や勤務体制等の改善を図るための検討と調整。(C・D)	が必要である。 ○ 学生の出席管理等において有効なソフトを活用することで負担軽減の一助となる。 ○ 会議資料の送付やアンケート集計をオンライン化することにより、少しでも負担軽減に繋がるのではないかな。	迅速に対応していく。 2 データ処理や校務処理等に係るIT化をさらに推進し、業務の効率化と教職員の負担軽減等に繋げていく。 3 教職員の業務や勤務体制等の改善や調整について、関係諸会議でその要否も含め検討を進める。
	C 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか。	3. 6			
	D 人事、給与に関する規程等は整備されているか。	2. 9			
	E 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか。	3. 3			
	F 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか。	3. 5			
	G 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	3. 7			
	H 情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	2. 6			
3 教育活動	A 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	3. 8	[主な取組 並びに 成果] ① 臨床実習指導者会議や同指導歯科衛生士会議のWeb開催化による出席者の増大と教務による実習先訪問等による指導方法等の情報共有。(D・E・F・H) ② 協力施設との緊密な連携のもと、臨地実習は向上が図られ。成就感や達成感の獲得に結実。山形市・上山市に加え、米沢市・天童市・東根市での保健指導業務実習を実施。(B・D・E・F) ③ 米国の大学講師の特別講演会は新しい講師により5年ぶりの対面での実施。(C・D・E・F) ④ 外部講師の特別授業を3学年を中心に数多く実施。各専門分野の先端的な知識や技術の学習による意欲向上。(C・D・E・F) ⑤ 3年「テーマ研究」の発表内容の向上、公共施設を使用した発表会の充実、Webによる振り返り視聴を実施。(D・H)	○ 「テーマ研究」発表会について、発表内容は大変興味深いものが多く、発表する姿勢や態度も大変良かった。指導の基点となるテーマ設定の方策が向上しているのではないかな。 ○ 「テーマ研究」は他者の考えを受け入れ、互いに認め合いながら協調性や探究心を高めることができる良い学びである。 ○ 「登院式」の様子がとても良い。学修意欲の増進が	1 各協力施設との連携を強化し、臨地実習・臨床実習の適正な実施とともにさらなる充実を図る。 2 外部講師による特別授業や学校間交流事業の充実を図り、各人の知識技能定着や学びの深化をめざす。 3 初任者研修の計画的実施も含めて、教職員の指導力向上に向けた研修内容を検討し、教育力向上をめざす。
	B 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	3. 7			
	C カリキュラムは体系的に編成されているか。	3. 8			
	D キャリア教育や実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫や開発などが実施されているか。	3. 8			
	E 関連分野の企業・関係施設等や業界				

	団体等との連携によりカリキュラムの作成や見直し等が行われているか。	3. 7	⑥ 終了期の総括的な授業評価に加え中間期評価の実施による授業の質向上と学修意欲の惹起。(G・L) [今後の課題] ① 臨地・臨床実習協力施設との連携を強化し、歯科衛生士の職業的特性を幅広く学ぶ体制の充実。(A・B・C・E・F) ② 多職種連携教育の推進をめざした学校間交流事業の内容検討と、外部講師による特別授業の充実。(K・L) ③ 教職員の指導力向上に向けた校内外の各種研修の充実。(M・N)	図られていると感じる。	
	F 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか。	3. 7			
	G 授業評価の実施・評価体制はあるか。	3. 9			
	H 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか。	3. 8			
	I 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。	3. 8			
	J 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	3. 8			
	K 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。	3. 8			
	L 関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか。	3. 5			
	M 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか。	3. 3			
	N 職員の能力開発のための研修等が行われているか。	3. 1			
4 学 修	A 就職率の向上が図られているか。	3. 9	[主な取組 並びに 成果] ① 国家試験全員合格・資格取得100%達成に向けた取り組み。(A・B)	○ 「先輩歯科衛生士から学ぼう」の講演会は大変有意義であり、今後も継続すべ	1 3年間を見通した国家試験対策を検討し、高度化する試験内容に対応しつつ、

成 果	B 資格取得率の向上が図られているか。	3. 9	② 個別面談の積み重ねとともに、面接練習の実施等就職支援の充実による意識の向上。(A)	きだ。身近な先輩の体験談は心に響くと思う。講師役の同窓生を評価したい。	学年や習熟度に応じた指導の具体策を策定する。		
	C 退学率の低減が図られているか。	3. 3	③ 学生自治会主催講演会「先輩歯科衛生士から学ぼう」の開催（2年目）。在校生の意識向上とともに同窓生の活躍の評価となり有意義。(A・D・E)			2 学生自治会主催講演会を継続し、同窓生の活躍等を評価するとともに在学生の目的意識の高揚を図る。	
	D 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	3. 8	④ 学生個別面談の適宜実施による、学生の状況把握と担任との信頼関係の構築。(A・C)			3 個別面談・保護者面談、学校カウンセリング等を通じ、学生や家庭との意思疎通を重視していく。	
	E 卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用しているか。	3. 5	⑤ 卒後1年者に対する定期連絡等（一昨年度開始）による状況把握。早期離職防止や就業の達成感獲得に効果。(D・E)				
	[今後の課題]						
① 校内外での日常的な指導とともに、各分野の特別講師による幅広い指導による医療専門職として職能理解の深化（B・C）							
② 「先輩歯科衛生士から学ぼう」講演会の継続実施による学修意欲の強化とともに卒業生の就業状況の幅広い把握。(D・E)							
③ 学生の個別面談や保護者・家族面談、また学校カウンセリング等による学校と家庭の密接な連携の構築。(C)							
5 学 生 支 援	A 進路や就職に関する支援体制は整備されているか。	4. 0	[主な取組 並びに 成果]	○ 細やかに各種面談を行っていることは学生生活の安定に繋がっていると思われる。	1 本校独自の修学支援制度を見直し、学生の修学意欲の向上や入学希望者の増大に繋げる。		
	B 学生相談に関する体制は整備されているか。	4. 0				② 学校カウンセラーによる教育相談活動の充実。(B)	2 「高等教育の修学支援新制度」「専門実践教育訓練給付制度」の活用を推進し、学業生活の安定化を図る。
	C 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。	3. 8				③ 「高等教育の修学支援新制度」（文部科学省）による幅広い支援。多数の学生への大きな経済援助として有益。(C・I)	
	D 学生の健康管理を担う組織体制はあるか。	3. 9				④ 「専門実践教育訓練給付制度」（厚生労働省）の対象者に係る当該事務の順調な遂行。(C・I)	
	E 課外活動に対する支援体制は整備されているか。	3. 3				⑤ 夏季休暇中における1年生の出身校（母校）訪問を実施。高校側の卒後指導としても高評価獲得。(A・B・J)	
	[今後の課題]					3 校内外の経済支援制度等について広報し、趣旨や制度内容の浸透を図り、さらに活用を推進する。	

	F 学生の生活環境への支援は行われているか。 H 保護者と適切に連携しているか。 I 卒業生への支援体制はあるか。 J 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。 K 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。	3. 6 3. 6 3. 8 3. 6 3. 6	① 本校修学支援制度「特待生制度」「奨学生制度」の内容について、意欲向上・経済支援の充実に向けて再点検の実施。(C) ② 「高等教育の修学支援新制度」の円滑な運用。また「専門学校教育訓練給付制度」の対象者の増員。(C・I) ③ 校内外の経済支援制度等に係る幅広い広報。(C・F・G・I)		
6 教育環境	A 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。 B 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。 C 防災に対する体制は整備されているか。	3. 4 3. 3 3. 6	[主な取組 並びに 成果] ① 歯科診療ユニット等施設設備の有効活用による充実した実習指導の展開。(A) ② 米国大学講師の対面による特別講義の実施。米国における歯科診療事情等の学習に効果。(B) ③ 学生図書委員会活動の活性化による学校図書室の学習環境向上。「テーマ研究」の学習や国家試験対策等で活用。(A) ④ 学生用緊急連絡システムを更新。保護者の参入による危機管理の確度向上と用途の幅の拡大。(A・C) [今後の課題] ① 旧型校内施設設備の更新整備について、学校運営の中長期的展望のもとで検討。また定期的な校内設備点検の実施と計画的な整備の実行。(A・C) ② 更新した施設設備等関連機器の有効活用による学習活動の充実。(A) ③ 米国大学講師特別講義の実施方法の工夫。国際的な幅広い視野の	(特になし)	1 更新した実習用歯科ユニット等を有効活用するとともに関連機器等の利活用を進め、学習環境の向上を図る。 2 旧型校内施設の更新整備を検討するとともに、定期的な校内設備等の安全点検を実施する。 3 米国特別講師による特別講義の実施方法をさらに工夫し、世界の先進的な歯科医療事情への理解を深める。

			獲得。(B)		
7 学 生 の 受 入 れ 募 集	A 学生募集活動は適正に行われているか。	3. 7	[主な取組 並びに 成果] ① A O入試の導入によるオープンキャンパス体制の強化。担当学年の学生を運営主体として学校の特色を強調。(A) ② 高校主催進学ガイダンスや個別学校訪問等、可能な限りの対面での広報を実施。(A・B) ③ 学校HP、専用ブログ・Instagramの適時の更新。(A・B) ④ 本校独自の修学支援制度、「高等教育の修学支援新制度」、「専門実践教育訓練給付金制度」等経済支援体制の広報。(A・B) [今後の課題] ① 入学者選抜に係る日程や方法等の細部の改善検討・体制整備の実施。(A・B) ② 高校訪問、進学ガイダンス、中学校出前授業等、対面での広報についてのさらなる工夫検討。(A・B) ④ 学校HP、専用ブログ・Instagramの他、SNS上の各種広報手段の更なる充実。(B)	○ 歯科衛生士の魅力について、もっと身近な所からたくさん発信していくべきである。小さい子どもの段階から、歯科衛生士の活躍に触れられるように様々な活動を「顕在化」していけばよい。 ○ A O入試に関する具体的方策について研究を進めて、受験生や保護者により身近に感じてもらう工夫が必要である。 ○ 歯科医療界全体で歯科衛生士の必要性に関する社会的な雰囲気作りが必要ではないか。もっと仕事の重要性について「見える化」を図っていく。	1 入学者選抜の日程や方法等を細部改善検討し、意欲溢れる志願者の増大を図る。 2 高校訪問、高校進学ガイダンスや会場ガイダンス、中学校出前講座等による対面広報を充実させる。 3 学校HP、専用ブログ・Instagram等、SNS上の各種広報を幅広く取り入れる。
	B 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	3. 7			
	C 学納金は妥当なものとなっているか。	3. 7			
8 財 務	A 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。	2. 6	[主な取組 並びに 成果] ① 在籍学生数減の中、予算の執行と適切な財務管理。(B・C・D) ② 各種経済支援制度に係る円滑な事務処理。(B) ③ 財務状況の学校HP上の公開。(D) [今後の課題] ① 「専門実践教育訓練給付制度」(厚生労働省)や「高等教育の修学支援新制度」(文部科学省)等の有効活用による入学者の確保。本校独自の修学支援制度の改善検討。(A・B) ② 適切な予算低減とともに、日常的な経費節減に努めることによる安定的な経営の継続。(A・B)	○ 少子化が激しく進行する中で、学校の経営規模や運営方法等について改善検討をしていく必要があるのではないかな。	1 「高等教育の修学支援新制度」「専門実践教育訓練給付制度」、本校修学支援制度の確実な運用を行う。 2 少子化進行に備え、中長期的な学校経営計画の策定とともに、施設設備の改善整備、更新等の計画的実施を検討する。 3 日常的な経費節減を心がけ、より安定的な経営環境を構築する。
	B 予算・収支計画は有効且つ妥当なものとなっているか。	3. 1			
	C 財務について会計監査が適正に行われているか。	3. 7			
	D 財務情報の公開の体制整備はできているか。	3. 5			

			③ 中長期的な学校経営計画の策定とともに、施設設備の改善整備、物品更新、不具合箇所修繕等の確実な執行。(A)		
9 法令等の遵守	A 法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	3. 9	[主な取組 並びに 成果] ① 学校関係者評価委員会と教育課程編成委員会を年2回、学校図書室運営検討委員会を年1回開催。各委員会とも企業等委員等の外部有識者との協議の充実。(A・C) ② 学校評価事業9年目、学校運営の改善や工夫に効果。主な事業内容を学校HP上に公開。(A・C・D) ③ 文部科学省が示すガイドラインに従った情報公開(学校HP上)を実施。(A・C) ④ 本校「個人情報保護方針」の学校HP上での公開。(B) ⑤ 学校教育法の一部改正による専修学校の学校評価体制改編に伴う組織体制の整備(県歯科医師会指導の下)。(A・C・D) [今後の課題] ① 保護者・家族、歯科医療関係者への適切な学校情報の周知。(D) ② SNS、スマートフォン使用時の情報管理に係る専門家による指導の実施。(B) ③ 学校評価体制の抜本的な変更に対応する臨時委員会「点検・評価委員会(仮称)」による対応策の協議。(A・C・D)	(特になし)	1 少子化下の学校運営等について、企業等委員や外部有識者より指導助言を受けながら適正な運営をめざす。 2 学校評価等を含めて各種学校情報の公開を推進し、学校運営の適正化と客観化を図る。 3 国が求める学校評価体制の抜本的な変更に対応すべく、関係諸会議で丁寧な検討を重ねる。
	B 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	3. 9			
	C 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。	3. 9			
	D 自己評価結果を公開しているか。	3. 9			
10 社会貢献・地域貢献	A 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	3. 8	[主な取組 並びに 成果] ① 「山形花笠祭りパレード」への全校参加。地域からの高評価。大きな達成感の獲得。(A・B) ② 「東北絆まつり(仙台市)」に山形県代表団体として参加。(A・B) ③ 学校周辺の地域清掃ボランティアを年2回実施。また、長年にわたる清掃活動等の地域貢献活動により、山形市より「褒賞」受賞。(B) ④ 3学年「テーマ研究」発表会に係るWeb上の振り返り視聴の一部公開。(A・C)	○ 「花笠祭りパレード」「東北絆まつり」等の地域行事に参加し、学生がいきいきと活動している様子はとてもよい。 ○ 学校周辺の清掃ボランティア等、長年の地域貢献が認められ「褒賞」を受賞したことは素晴らしい。 今後も継続できるように意欲喚起をしてほしい。	1 第3学年「テーマ研究」発表会をWeb上で公開し、振り返り視聴も充実させる。 また、広く学修成果を発信するための方策を検討する。 2 郡市地区歯科医師会との連携による地域貢献活動や歯科保健活動への参加を推進する。
	B 学生のボランティア活動を奨励や支援をしているか。	3. 9			
	C 地域に対する公開講座や教育訓練(公共職業訓練等含)の受託等を積極的に実施しているか。	3. 3			

	⑤ サッカー「モンテディオ山形ガールズデイ」イベント参加。歯科医療の地域広報。(A・B) [今後の課題] ① 第3学年「テーマ研究」発表会の幅広い広報。また、ウェブ公開と振り返り視聴体制のさらなる推進。(A・C) ② 県内郡市地区歯科医師会との連携による地域貢献活動、歯科保健活動の推進。(A・C) ③ 地域行事への参加等、社会貢献・地域理解に係る活動の推進。 (A・B)		3 地域の祭りへの参加や地域清掃ボランティアの推進をはじめ、地域との交流や発信の方策等を検討する。
--	---	--	--